

スペシャルインタビュー

【“直感を揺さぶる”地震ザブトン ～リアリティが生きる力を育む～】

白山工業株式会社 黒田 真吾さん



白山工業株式会社は、気象・火山・地震などの自然現象を測る機器の製造やシステム構築を行うなど、30年に渡り地震防災に携わっている企業です。近年、地震防災教育分野で活躍している製品が、“地震ザブトン”。地震のタイプ(直下型・海溝型)や、地盤・建物の応答によって全く異なる地震の揺れを再現できる室内専用の超小型な地震動シミュレーターです。“地震ザブトン”と共に防災訓練・啓発・教育に取り組んでおられる黒田さんにお話を伺いました。

1. 「こわがらせる」「こむずかしい」「そっけない」防災訓練で感じた冷たい空気感

地域の防災訓練の場には若い人がほとんどおらず、妙な違和感を覚えました。長年住んでいるお年寄りには地元が好きで、自分たちで何とかしないと！という責任感があるし、訓練に行けば誰かに会えるというコミュニティにもなっている様子。これはとても素晴らしいことだと思います。でも、そこに若い人が参加しないのはなぜだろう？私自身が若かったこともあり(2009年当時：29歳)、若者側に立って防災訓練に参加し、観察することから始めました。

2. 「防災を茶化すな」で、火が付いた

「若い人は防災に無関心だ」と簡単に言いますが、若い人からすると、防災の世界には近寄りづらい空気感があることにも気が付きました。もし関心があっても、どこに、どんな情報や装置があるか知らないだけかもしれない。それなら、彼らの生活圏(住宅、職場、遊び場)にお邪魔して、防災に触れるきっかけをプレゼントしたらどうかと考え、動き出しました。地震ザブトンを使って防災をおもしろく、わかりやすく、楽しくしようというアプローチを応援して下さる方がほとんどでしたが、「防災を茶化すな」という批判も受けました。悔しかったですね。負けてたまるかよ！と火が付いた瞬間でした。

3. “地震ザブトン”は、直感を揺さぶる存在でありたい

2011年以降、津波避難が注目される中でも、津波の前の「揺れの長さ(3分ほど)」はあまり意識されていないように感じます。津波から逃げるのも大変ですが、揺れている間、命を守ることもすごく大変です。地震ザブトンでは、様々な大地震で観測された揺れ(今後起こり得る地震の揺れ)の振幅の大きさや時間の長さが体感できますし、揺れと同期した室内被害映像が視聴できるなど、リアリティを求めています。家具固定や家屋の耐震化の促進のためには、一人ひとりが横揺れを体験し、直感的に被害を想像することが大切だと信じています。直感を揺さぶるような体験が、いざという時に命を守ることにつながってほしいと願っています。

白山工業株式会社：<http://www.hakusan.co.jp/> 地震ザブトン：<http://www.hakusan.co.jp/zabuton/>

防災教育のご報告

【子ども防災実施報告】

- ・日時：7月13日(水)13:35～15:20
- ・場所：和歌山県印南町立印南中学校
- ・対象：中学3年生、教員(約35名)

印南中学校では、総合学習の時間を使い、「津波研究班」を中心に、防災学習を10年以上続けています。今回は、『避難所ことはじめ』をテーマに、3年生に授業を行いました。1日の生活を振り返り、災害後に生活がどう変化するかを考えました。避難所で考えられる課題、乗り越える知恵について、意見を共有しました。8月には、“印南避難センター”で避難所体験プログラムを



実施されます。「避難所体験でこんなことがしたい」と、積極的に先生に意見を伝える姿は頼もしく感じました。ありがとうございました。

- *その他、下記の3校でプログラムを実施しました
みなさま、ありがとうございました。
- ・7/7 関西大学 近藤ゼミ 授業
 - ・7/15 半田市立亀崎小学校 講演
 - ・7/20 兵庫県立宝塚東高校 研修

お知らせ

◆熊本地震募金のお願い◆

平成28年7月21日時点で、191万6,857円の募金をお預かりしました。ありがとうございます。引き続き、みなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。詳しくはHPをご覧ください。

◆防災教育 今後の予定◆

- 7/27:徳島県 高校生
- 8/1:佛教大学
- 8/2:上郡町社会福祉協議会
- 8/4:寝屋川市教育委員会
- 8/17～:熊本支援 他

熊本地震 子ども支援

【心のケア・防災教育プログラム】

7月8～10日の3日間、熊本地震で被害を受けた熊本県益城町、御船町、南阿蘇村を訪問しました。益城町では、震災・学校支援チームEARTHの諏訪清二先生より、心のケア・防災教育プログラムが行なわれました。子ども達を見守る保護者、教職員、NPO団体、ボランティアグループの方と共に、“3つの安心感”を中心に、余震対応、ストレス反応、自分の心と体の付き合い方、リラックスの方法などについて共有する時間をもちました。詳細は、8月上旬に発行予定の“特別号”でご報告します。

【ぼうさい甲子園 応募校・団体受付中】

あなたの学校・地域の防災活動を応募しませんか？防災教育日本一を決める、「ぼうさい甲子園」。

全応募校の取組は“記録誌”に掲載し、全国に配布します。

**あなたの取組が、
誰かのヒントになる！**

記録誌の無料配布も実施中です。

気になる方はぜひお問合ください！



連絡先

〒663-8201
西宮市田代町16-8
パルティーレN棟 西号室
0798-64-5829
<http://npo-sakura.net/>



*熊本地震支援、
防災教育等の
活動報告を発信中